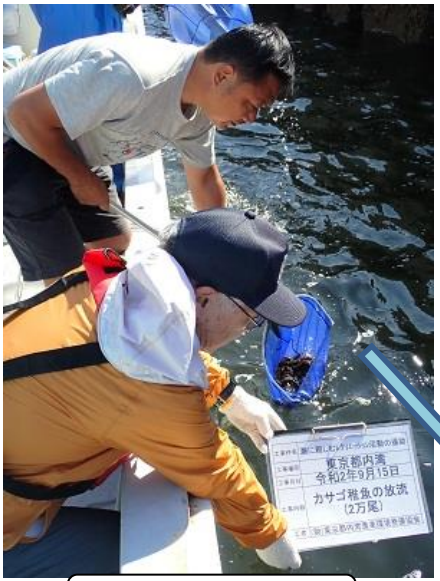
今年もカサゴ稚魚を放流しました。

令和 2 年 9 月 15 日、今年も羽田周辺においてカサゴ稚魚 2 万尾を放流しました。当協会では平成 7 年度からカサゴの放流に取り組んでおり、これまでに放流した尾数は累計 44 万 5 千尾になりました。

今年の稚魚は、平均全長 7.0cm（平均体重 5.6g）で、放流地点は羽田空港 D 滑走路の先端部にあるスリット護岸区域です。

当協会が羽田沖浅場で行っている桁網調査で平成 30 年から毎年、カサゴの稚魚が採捕されるようになってきました。この採捕は、これまでの放流による成果とも考えられ、豊かな海の復活に向け明るい材料となりました。

なお、放流作業は今年も都漁連内湾釣漁協議会　小島一幸 会長他 5 名の方々のご協力を頂き実施しました。



スリット護岸周辺で放流

都漁連内湾釣漁協議会の協力によるカサゴ積込作業

放流カサゴ